

## 平成 18 年度事業活動報告

### 1] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する人材育成 (定款第 4 条第 1 項関係)

- 舞台芸術・芸能見本市 2006 大阪の受託事業として～クラシック音楽文化シンポジウム「音楽と子ども達」を開催した。参加者 50 名。

※クラシック音楽文化シンポジウム「音楽と子ども達」

日 時 平成 18 年 7 月 28 日 (金) 13:00～15:00

会 場 大阪ビジネスパーク地区 松下 IMP ビル 5 階 I 会議室

料 金 見本市券とセット ¥1, 0 0 0

パネリスト 頼近美津子 (コンサートプランナー)

古谷 光昭 (NHK 青少年・子ども番組ディレクター)

大里 安子 (ヤマハ音楽教育システム本部講師)

ナビゲーター 竹澤 千絵 (ソニー音楽芸術振興会)

- 会員社所属の職員を対象とした勉強会 (参加者による相互ディスカッション) として「クラ協ゼミ」を年間 4 回開催した。参加者合計 200 名。尚、開催会場はソニー音楽芸術振興会の協力により無償提供された。

※第 1 回 「コンサート関連法律 (著作権・実演権) とビザ・契約に関わる諸知識」

平成 18 年 6 月 12 日 (月) PM4 時～6 時 アドバイザー: 栗林信介/上出 卓/永由義人/善積俊夫

※第 2 回 「指定管理者制度の現状と今後の諸知識について」

平成 18 年 9 月 11 日 (月) PM4 時～6 時 アドバイザー: 吉本光宏/桧森隆一/伊藤せい子

※第 3 回 「企業の文化支援活動 (メセナとスポンサー) について」

平成 19 年 1 月 22 日 (月) PM4 時～6 時 アドバイザー: 齊藤公治/戸沢 愛

※第 4 回 「広報プロモーション戦略について」

平成 19 年 3 月 19 日 (月) PM4 時～6 時 アドバイザー: 中村 優/瀬在正人/白仁隆文

会場は全てソニーミュージックエンタテインメント六番町ビル会議室

### 2] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する調査及び研究 (定款第 4 条第 2 項関係)

- 指定管理者制度の導入及び市町村合併等の影響により、全国の公共ホールの名称・住所・連絡先等が大幅に変更になっていることから、昨年に引き続き全国のコンサートホールのデータベースを更新すべく、全国約 1400 ホールに対して調査を実施し情報の確認及び更新作業を実施した。尚、この最新情報については本会で発刊するクラシック音楽事業ガイドに掲載している。

- 海外の著作権使用料 (実演権) の実態を把握すべく、I A M A に調査の依頼を行なった。その結果を取得しコンサートフォーラムにて JASRAC に提示した。

### 3] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する普及及び啓発 (定款第 4 条第 3 項関係)

- 文化庁舞台芸術国際フェスティバル (IPAF) の企画として、以下の公演の企画制作及び広報告知活動を受託し、音楽文化の振興と発展に寄与した。

※公演名「アジア・スーパー・クラシックス@知恩院」

日 時 平成 18 年 10 月 21 日 (土)

第 1 部 13:30～ 絲竹爛漫

第 2 部 16:00～ 東から世界へライジングスターの饗宴

第3部 18:30～ トワイライトコンサート

会場 知恩院 三門【国宝】（京都府京都市） 総入場者数 1,500名。

料金 入場無料・要整理券

主催 文化庁舞台芸術国際フェスティバル実行委員会

後援 京都府、京都市、京都新聞、KBS 京都、エフエム京都

制作 (社) 日本クラシック音楽事業協会

協力 (財) ヤマハ音楽振興会 (社) 日本クラシック音楽事業協会関西地区連絡協議会

※本事業に係わる企画制作費については文化庁舞台芸術国際フェスティバルの企画制作として全額委託費によって開催された。

- 財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業に協力して、地域の公共ホールに於けるクラシック音楽普及の一環として、新人アーティストに活躍の場を提供し、地域音楽文化の活性化を促進した。財団法人地域創造からの受託事業として、プレゼンテーションの実施、実施ホールの担当者に対する研修会の一部を受託し、講師の派遣を行った。

※平成18年度公共ホール音楽活性化事業（全国29ホールで実施）

北海道中標津町、北海道豊頃町、岩手県北上市、秋田県横手市、秋田県秋田市、埼玉県川口市、千葉県東金市、東京都品川区、長野県長野市、富山県砺波市、石川県金沢市、石川県珠洲市、福井県鯖江市、福井県若狭町、山梨県山梨市、岐阜県可児市、静岡県浜松市、三重県四日市市、京都府京丹後市、兵庫県朝来市、岡山県津山市、広島県廿日市市、徳島県海陽町、香川県丸亀市、愛媛県松山市、佐賀県唐津市、長崎県雲仙市、熊本県熊本市、宮崎県清武町

※平成18年度登録アーティストによるプレゼンテーション

12人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成18年4月20日（木）／会場：津田ホール

※平成18年度実施ホール全体研修会

実施ホールの担当者に対して開催された研修会に講師・演奏家を派遣した。

平成18年4月19日（水）／会場：地域創造会議室

- 公共ホール音楽活性化事業の継続サポート事業「公共ホール音楽活性化支援事業」（（財）地域創造の実施）についても、協会として制作協力体勢を整え、平成18年度は全国42ホールで実施した。又、支援事業のプレゼンテーションも今年度より初開催するとともに、同時開催セミナー「子ども音楽体験企画について」も開催した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

28人（組）の登録アーティストによるプレゼンテーションが実施ホール担当者に対して実施された。

平成18年8月2日（水）・3日（木）／会場：東京芸術劇場リハーサル室

※セミナー「子ども音楽体験企画について」

日時 平成18年8月3日（木）15:15～16:45

会場 東京芸術劇場リハーサル室

パネリスト 竹澤千絵（ソニー音楽芸術振興会）

頼近美津子（コンサートプランナー）

徳永英樹（音楽プロデューサー/1002代表取締役）

コーディネーター 善積俊夫（本会常務理事）

- 中越地震復興祈念支援事業として新潟中越大地震で被災した中越5市町と共催して、身近で親しみのあるクラシック演奏会、地域住民との交流を図るプログラムを開催し、被災地の被災者の心のケアと文化的な芸術活動の推進により芸術環境の復興を図った。

※サロンコンサートの開催

平成18年5月1日から9月27日の期間に、小千谷市、魚沼市、見附市、川口町、長岡市の各施設にて、全

36回の訪問プログラム（サロンコンサート12回、学校等訪問コンサート24回）を全9人（組）の出演者により実施する。総鑑賞者数（サロンコンサート814名、学校等訪問コンサート1267名）。

※ガラ・コンサートの開催

サロンコンサートの出演者によるガラ・コンサートを魚沼市小出郷文化会館で開催する他、魚沼市内の小学校5年生を対象とした招待コンサートを開催した。総入場者数（一般公演555名、招待公演814名）。

中越大震災復興祈念ガラ・コンサート 平成18年11月19日（日）午後3時～ 魚沼市小出郷文化会館  
小学5年生ご招待コンサート 平成18年11月20日（日）午後2時～ 魚沼市小出郷文化会館

- 丸の内元気文化プロジェクトの一環として、丸ビル5階の空中庭園にて、ミニライブを年間10回開催した。この事業は、大手町・丸の内・有楽町地区再開発推進協議会と文部科学省が推進する事業で、街の文化力を高め、その力で社会を元気にする活動として推進されている。

※丸の内元気プロジェクト共催事業 日本クラシック音楽事業協会 PRESENTS 空中庭園ライブ

- 第1回 5月17日（水）午後7時～ 彩愛玲ハープの夕べ
- 第2回 6月21日（水）午後7時～ ハーモニカとギターの夕べ
- 第3回 7月19日（水）午後7時～ 竹島悟史マリンバ・ファクトリー
- 第4回 8月23日（水）午後4時～ 心に育つ和の響き 心花～kokohana～二十五絃箏コンサート
- 第5回 9月20日（水）午後7時～ ヴァイオリン&チェロの夕べ
- 第6回 10月18日（水）午後7時～ かのんぷ～伝えたい言葉があります
- 第7回 11月15日（水）午後7時～ 秋の夜長のクラシック弦楽ライブ
- 第8回 12月11日（月）午後7時～ カルテットスピリタス空中庭園ライブ
- 第9回 2月21日（水）午後7時～ 300年の時空をこえて、空飛ぶ笛（リコーダー）
- 第10回 3月14日（水）午後7時～ じょんから～津軽の躍動～

- NECの協賛により実施しているウェブサイト事業「NEC Navigates Japan's Classical Music Artists」では、ホームページの定期的な管理運営・情報発信を行っており、昨年からは日本語版ホームページも完成し、活躍中の日本人アーティストの情報を海外に向けて発信している。現在ホームページに掲載されている邦人アーティストについては、専門委員会選考のうえ152人を掲載。海外の関連機関団体約一万二千件のデータベースを活用し毎月一回定期的な情報をEメールで発信するほか、毎月4本の「クラシカルミュージックニュース」を掲載し日本の音楽シーンに関するホットな情報を発信している。

- 「あなたが選ぶNECガラ・コンサート」の開催

ウェブサイト事業「NEC Navigates Japan's Classical Music Artists」にて紹介されているアーティストのなかからエントリーした13名に対し、音楽ファンがアーティストと演奏曲目をインターネット投票し、選出された6名のアーティストにより音楽ファン待望の曲目を披露し、同ホームページの認知の向上とクラシック音楽の普及推進コンサートを開催した。尚、収益金の一部は、出演アーティストの国際的認知の向上を目的として、プロフィールやCD等の資料を海外の主要音楽機関・音楽大学等に寄贈する予定。

※公演名「あなたが選ぶNECガラ・コンサート」

日 時 平成19年3月29日（木）午後7時開演

会 場 紀尾井ホール（東京都千代田区） 総入場者数600名。

料 金 3000円（消費税込・全席自由）

主 催 （社）日本クラシック音楽事業協会 / 提 供 NEC

後 援 （株）エンタテインメント+、（株）コンサートサービス、ぴあ（株）、ピティナ、Website Classic News

- 芸術文化都市東京を創ろうネットワークの企画について、企画協力及び公演制作協力を行うと共に、開催日にはスタッフ等人材の派遣を行った。

※「芸術家と子ども達の出会」プレ企画 平成18年7月16日（日）・17日（祝）会場：東京江戸たてもの園

- ※「芸術家と子ども達の出会い」プレ企画 平成18年7月22日(土)・23日(日) 会場:東京都現代美術館
- ※「子どもたちと芸術家の出あう街2006」平成18年8月9日(水) 会場:東京芸術劇場
- ※「八王子子ども劇場創立30周年記念コンサート」平成18年10月22日(日) 会場:八王子いちようホール

#### 4] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する知的財産権の維持・管理及び保全

(定款第4条第4項関係)

- 昨年より活動を行なっている「コンサート・フォーラム・ジャパン」にて、音楽著作権制度の公正な発展と、コンサートに関わる法的整備について関係団体と協議し基準となる事項をまとめるべく活動を実施しており、昨年より検討中のコンサート約款モデルを各方面に提示して、次年度の完成に向けて広報を行なった。又、著作権の具体的な運用の取り決めをJASRACと行なった。
- 著作権フォーラムに参加し、現在問題となっている著作権延長問題について各団体と協議を行ない、協会内に特別プロジェクトを設置し、著作権のあり方について意見を取り纏めた。

#### 5] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する情報収集及び提供事業

(定款第4条第5項関係)

- クラシック音楽事業ガイド2006を編集・発刊した。今年度は、指定管理者制度の導入及び市町村合併等の諸事情により、ホールの名称・住所・連絡先等に変更が多くみられることから、全国のホールに対してデータベース構築に向けたアンケート調査を実施し、ホールのデータを更新して発刊した。また会員社配布とは別に書籍流通ルートを利用した拡販について研究すると共にガイドブックの広告依頼を関連団体に対して行った。又、2007年度の事業ガイドについても2007年4月1日の発刊に向けて、編集作業を行なった。

#### 6] クラシック音楽事業及びクラシック音楽文化活動に関する内外関係機関等との交流及び協力事業

(定款第4条第6項関係)

- スウェーデンのストックホルムで開催されたIAMAの総会(4月5～7日)に善積常務他数名の会員が参加し日本の音楽事情や今後の事業発展の課題等を協議した。
- アジア諸国との音楽文化活動を深めるべくFACPに当協会より日本側理事として白川英伸、中坪功雄、善積俊夫の3名が参画し、9月21～24日に中国のウルムチで開催されたカンファレンスに出席しアジアとのネットワーク強化に努めた。

#### 7] その他本会の目的を達成するための事業 (定款第4条第7項関係)

- 平成18年度の会員数は、正会員66会員(平成17年度末)より、65会員(平成18年度末)に(この間退会3会員、新入会2会員)、賛助会員53会員(平成17年度末)より、55会員に(この間退会3会員、新入会5会員)なった。このことから、より一層の会勢維持・拡大に向けて、役員及び委員により分担し平成19年度に向けて積極的に会員勧誘を行っている。
- 昨年度より導入された公共施設の指定管理者制度の今後の動向について、昨年に引き続き情報を収集し今後の動向を探るとともに、今後に向けた具体的な対策案を引き続き検討している。
- 関西地区連絡協議会では、会員の連携と情報交換を密にするための連絡会を開催しており、昨年に引き続き文化庁舞台芸術国際フェスティバル開催に向けた協力体勢を整えるほか、関西会員対象とした人材育成事業のクラ協ゼミ等の内容を報告し関西会員の情報交換と連携強化を行ない、次年度より定期開催を行なうこととなった。
- コンサートの顧客のクレームが多様化していることから、日本オーケストラ連盟と協力して顧客対策プロジェクトを立ち上げ対応先等を検討した。
- 二重源泉問題及び招聘ビザの簡素化について文化フォーラム、経団連と連携し改善に向けた活動を展開した。